令和３年度　第２回小淵沢地域委員会会議録

１　開催日時　　令和３年１１月１６日（火曜日）
　　午後７時００分開会～午後８時４０分閉会

２　開催場所　　生涯学習センターこぶちさわ　軽運動場

３　出席委員　　中山宏樹、進藤幸夫、芝川又和、宮沢俊彦、清水健一、
　　茅野キヨ子、藤代富美男、今井一夫、茅野秀明
　　岩波光代、佐野恭子、大塚広夫、深沢久、金丸哲也

４　欠席委員　　佐藤護、清水俊一

５　事務局員　　小淵沢総合支所　　小泉　雅人
　　地域振興課長　　中田　光泰
　　小淵沢公民館　　黒瀬　教史
　　地域市民課市民担当　　坂本　真一
　　企画部企画課長　　田中　伸
　　企画部企画課　　土屋　直己

６　議　　題　　⑴令和４年度北杜市地域委員会予算の方向性について
　　⑵令和４年度地域委員会予算使途提案事業当初予算について
　　⑶その他

７　公開・非公開の別　　公開　・　非公開

８　傍聴人数　　１人

９　署　　名　　署名委員　　４番　　芝川　又和

　　署名委員　　５番　　宮沢　俊彦

１　開会

２　会長あいさつ

進藤会長からあいさつ

３　議題

（事務局）

北杜市地域委員会設置条例第８条２項に、「会議の議長は会長が務める」と定めてありますので、議題の進行は進藤会長にお願いします。

（会長）

それでは、議長を務めさせていただきます。

活発なご意見をいただきながら有意義な委員会となるよう御協力をお願いします。

この会議は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第２条、「公開の原則」に基づいて開催されています。本日の議事内容には、非公開情報は含まれていませんので、公開といたします。よろしいでしょうか。

（委員）

（異議なし）

（会長）

次に、議事録署名人の選出を行います。

議事録署名人は、４番芝川又和委員、５番宮沢俊彦委員にお願いします。

なお、質問、意見につきましては、議題ごとに受けますのでよろしくお願いします。

それでは、議題（１）の「令和４年度北杜市地域委員会予算の方向性について」ですが、説明をお願いいたします。

（事務局から説明）

（会長）

この件について、質問や意見がありましたらお願いします。

（委員）

観光協会の中山です。台風で２年、コロナウィルスで２年実施していないことを考えると来年こそは実施したいと思います。演技できる馬も減ってきているので訓練もすぐにはできません。継続したいです。コロナ禍だからこそお祭りが必要と考えられます。祭りに対する市の意識が低いのではないかと思います。観光客を誘致するうえでも大事だし県外からの移住にもつながります。明野（サンフラワーフェス）も含め観光客を呼べるような祭りは、ぜひ継続してほしいです。

（事務局）

企画課の田中と申します。方針にもあるように手作りのイベントを行ってもらいたいと考えています。コロナだからこそ祭りが必要とのことですが、まさにそのと

おりだと思います。ただ、そこには感染対策も必要であると考えます。

ホースショーは、全国的にも珍しい特色あるイベントの一つだと考えています。かねてより観光課でも補助金も出しています。ただ来年度に関しては、飲食を伴わない、規模は小さくても工夫した手作りでのイベントの企画をお願いしたいと思います。

（委員）

先日行われた、馬のまち祭りですが、500 人ほど来場され楽しんでいただきました。市内の小学生も５０人ほど馬に触れ合いを行いました。こうゆうことが地元を愛することにつながると考えます。

ただ、手作りのイベントでがっかりされても逆効果と考えます

（事務局）

委託会社に大部分をお願いするようなイベントを見直していただきたいと考えています。ホースショーは、歴史があるイベントと聞いています。当初はウェスタンカーニバルからスタートしたとも聞いています。

ぜひ、手作りでも活性化できる祭りをやっていただきたいと考えています。

（委員）

実行委員会を立ち上げて、皆さんと協議して進めたいと考えます。

（事務局）

本年の第３波が来て中止を決定しました。どうすればできるかも考えました。イベント会社にも相談し多角的に検討してみましたが、感染症対策には人員が必要です。役員もワクチン未接種の段階であり感染者が出た場合、責任が持てないため今年度中止を決定しました。安易に中止したわけでなくそれらの経緯、検討を踏まえて中止をしたという経緯を説明させていただきました。

（委員）

予算の方向性の説明がありましたが、市の予算はこれから決めるはずですが、そちらとの関係はどのような位置付けでしょうか。

（事務局）

本委員会内で予算案を審議し承認頂いた内訳で市長査定を受け、議会で予算の議決を行います。

（会長）

それでは、本議題に関しては以上でよろしいでしょうか。

次に、議題（２）の「⑵令和４年度地域委員会予算使途提案事業当初予算について」ですが、説明をお願いします。

（事務局から説明）

（会長）

この件について、質問や意見がありましたらお願いします。

１１月４日の地域委員会連絡協議会で説明のあった金額をもとに、予算案を作成しました。

１６番の地域活動提案事業の予算（30 万円）につきましては、予備費的にいろいろなことに使えるような予算枠にしたいと思います。小淵沢では今、スケートの問題があります。地域が何も知らないで進められるのも怖いので、類似施設の視察をしたり検討したいと思いますので、提案事業として予算を設けました。

（委員）

ホースショーを手作りで行うなら、そのための予算が必要ではないでしょうか。新規でやりたい事業についてはいい事であると思いますが、イベントについて別途で市の予算が出るのか検討してほしいです。

（事務局）

令和４年度予算につきましては、各団体に聞いて必要な予算額を確認し編成しました。

これまでの予算枠ではできなかった事業もありましたので、各地区の予算も含め結果として手厚くしました。

イベントに関しての予算枠についてですが、ホースショーの事業総額はおおよそ１３００万円程かかっています。イベント内容のどこを見直すのか検討する必要があります。既存の手作りイベントにホースショーを入れ込んでいく方法もありますが、これを行う上では観光協会の考え、地域の考え、地域委員の考えなどいろいろなところで協議を重ねていかないといけないと思います。どうしてもということであれば、計画変更をしたうえで予算の捻出も可能であります。

（委員）

１６番の地域活動提案事業ですが、スケートリンクの視察ばかりではなく、アフターコロナを見据えた中で、お祭りなどの成功している事例の視察もよいのではないでしょうか。

（事務局）

ホースショーに関してもどうあるべきかを考える時期に来ていると考えています。時間をかけて方向性を出すべきと考えています。事業予算の使い道の一つとして実施を行うことはよいと思います。

（委員）

１０番の地域活性化事業についてですが、一昨年の地域委員会でも意見を出しましたが、４２０万円の配分方法についてはどう考えていますか。

（事務局）

令和２年度も従前通り均等割りと、世帯割で算定しております。

（委員）

均等割り、世帯割りの考え方は間違えではないが、世帯数の多いところと少ないところで、あまり差が出なかったと思う。

均等を 30 にするとか、変えた方が良いかもしれません。そうすれば各行政区の運営がスムーズになると考えます。

（事務局）

当初より均等割り、世帯割りそれぞれ 50%でした。各地域間でなるべく均等に配分したい思いもあり現在の比率にした記憶があります。委員の意見を踏まえ検討し、地域委員会でご報告させていただきたいと思います。

（委員）

どのように祭りを作り上げるか、まだわからない状況であります。実行委員会で話をしなければならないことですが、今年の予算決定までにはとても間に合わない状況であります。イベント関係についてこの予算案には盛り込めないと思います。

それと観光協会からの要望ですが、観光施設の老朽化が進んでいます。

「馬場の里」では今ロープが張られ、立ち入り禁止の区域があります。以前は赤松が倒れそうでという説明でしたが、現在伐採は完了しています。以前観光客からは、観光マップに載っているけどロープが張られて閉じている状態だと指摘されたことが有ります。管轄がわかりませんが、観光マップから消す事も含めて検討してほしいと思います。

「すずらん池」は、現在桟橋や木柵及び四阿が壊れてロープが張られています。ずいぶん前から言っているがそのままです。撤去も含めて検討してほしいと思います。

「インター出口の草刈り」についてですが、毎年ツタがどうだん躑躅を覆っています。観光シーズンに越波詰まって対応しているようですが、毎年の懸案事項であるので早めに対応をしてほしいと思います。

「駅のロータリー」の花植えですが、何か良い策はありますか。他町では地域委員会でも花の事業が予算化していますが。

（事務局）

馬場の里についてですが、観光課が所管でありますので今のことを伝えます。

すずらん池ですが、観光面の整備もしています。観光と農政の両方の機能を有していますので、それぞれの所管部署に伝えます。

インター出口ですが、県道の道路敷地ということで、直ぐにどうするというお答えはできませんが、該当する県の部署に連絡をしたいと思います。

観音がある駐車場付近は、小淵沢総合支所の管理ですが、定期的に草刈を行っています。

花に関する事業は、他の町でも事業化しているところもあります。公民館活動の中から対応をおこなっていた地区もあったようですが、駅のロータリーに地域活動費を入れることに関しては、疑問を感じる地域もあろうかと思います。

所管のまちづくり推進課に、このことを伝えたいと思います。

（委員）

継続と新規がありますが、継続の事業はこれまでの方々のご努力でやってこられたのかと思いますが、新規事業について聞きたいことが有ります。

消防署やプールがなくなりスケートリンクの問題もある。何とかしてもらいたいというのが正直の意見である。提案事業で良いところの情報を冊子のようなものを作って皆に知らせるべきだと思います。もっと金額を増やしてもよいのではないかと思います。

中学校の６０周年記念事業ですが、市立中学校の事業に対する地域委員会とは、どのようなかかわりがあるのでしょうか。

あと、駅ピアノですが JR の費用負担はあるのでしょうか。

（事務局）

中学校の記念事業は、資料にもあるように実行委員会に対し補助を行うものです。保護者や卒業生で構成する実行委員会が１０年に１度行う事業であり、学校への補助金ではありません。

駅２階の交流スペースは市の所管であり、通路は JR の所管でありますが、JR の理解が得られたことで、通路に置いて事業を行っています。

（委員）

商工会の宮沢です。小淵沢は、馬の全国レベルの大会を開催しています（年間４回）。

県の予算も活用したりして、市民にもっと PR したらどうでしょうか。１１月にも馬の大会があったがあまり知られていないように感じました。

（会長）

１５番のボランティア活動はぜひ続けてほしいです。広範囲で活動していただきたいと思います。

予算については、変更できるという表現がありましたが、観光協会で祭りを作り上げる費用として些少でも構わないので、予算計上できるものか検討を頂きたいです。

（事務局）

（事業間の）予算流用は基本できないが、正当な理由があれば市長決裁で組み替えることは可能です。

今回は、特に災害対策事業や地域活性化活動支援事業を増やしました。イベント開催経費にいくら必要か掴めない状況です。どうしても必要ならば地域活性化活動支援事業の中から、１０万円～１５万円位の変更は可能かと考えています。

原則は、今回の配分枠で納めたいと考えています。

（会長）

では令和４年度の事業に係る予算については、こちらの案でよろしいでしょうか。

（委員一同）

異議なし。

（委員）

その他、事務局から何かありますか。

（事務局）

第３回市議会に係る市政報告を机上に配布しましたので、後程ご確認ください。

（会長）

他に何かありますか。次回はいつ頃開催しますか。

（事務局）

本来は市政報告会のあと開催していましたが、行われていない状況であります。地域委員会だよりの作成もありますし、議題や課題があれば必要に応じて来年正副会長と協議を行い、会の招集をしたいと考えています。

（委員）

スケートセンターは、小淵沢でも重要な問題かと思います。皆さんの意見も聞いてみたいのですが。

（会長）

関連した協議会が二つあります（周辺整備と競技関係）。

どちらも行政主体で動いている会であって、住民による検討会はありません。区長会などで意見や要望を出してもらうのが良いのか、いずれ執行部側の説明や皆様の意見を聞く場を設けたいと思います。

（委員）

子供たちは、今練習場を使えないのですよね。今後の展望はどうなっているのか。現在どうなっているのか、少なからず地域委員会で話し合うべきだと思います。

（会長）

（説明の場を）教育部へ依頼してください。今後の予定について住民に知らせる機会を設けてほしいです。

（事務局）

方向性が出た上で、説明の場を設ける予定だと思いますが、所管の教育部へ伝えます。

（委員）

現在スケートリンクは、県の所有であるが来年市に移管を行う前に修繕を行うことになっています。しかし、県が示した工事内容は関係者がイメージした整備ではないです。ボイラーも老朽化していますが、オーバーホールに留まっています。数年後に壊れない保証はないです。

リンク内の配管は破裂で液漏れしています。工事はもう始まっているのではないでしょうか。

あと、年間を通じて利用できる施設にしていこうとの話もありますが、内容の検討を今している最中であると聞いています（周辺整備も含め）。

県内でスピードスケート競技ができる環境は、富士急しか残らなくなり、八ヶ岳スケートセンターが仮に無くなれば、峡北地域のスケート競技の人口は大きく減少するだろうと予想されます。

（会長）

スケートセンターについて、皆様に報告できる決定事項はまだないようなので、この委員会での審議はこれで終了したいと思います。

以上で本日の協議事項を終わります。

本日は、慎重な審議及び活発な意見を頂きありがとうございました。

７．閉会

閉会時間　　午後２０時４０分